



## 国政レポート

### vol.3

(討議資料)



### 3年目を迎える国会活動

参議院国土交通委員会において質問  
(シブプリサイクル法について)



Q.シブプリサイクル条約を策定してきた日本のアドバンテージを国際海事機関(IMO)における他分野でも発揮し、そこでの議論も積極的に主導していく必要があると考えるが、国土交通省は今後どのように取り組んでいくのか?

A.官民双方の技術や専門知識をIMOの活動にも反映させることによりまして、船舶に起因する環境汚染の一層の防止や安全性能の向上に関わる議論を主導していく。

等のシブプリサイクル法に関連する質問を行いました。

第196回通常国会最終日における議員総会



第196回通常国会で成立した主な法律

- ・受動喫煙防止法
- ・IR実施法
- ・働き方改革関連法
- ・TPP関連法
- ・東京オリンピックパラリンピック関連4法
- ・所有者不明土地の利用の円滑等に関する特措法 等

### 自民党青年局長代理に就任!

全国一斉街頭活動(高尾山にて)



### 世界とつながる外交活動

ケニア共和国及びルワンダ共和国に対する我が国の政府開発援助に関する調査

ODA調査班として、ケニア共和国オブレ副大臣表敬訪問、ABEイニシアティブ修了生の面会、ルスモ国際橋及び国境手続き円滑化施設整備状況の視察(ルワンダ)、在ルワンダ青年海外協力隊員・日系企業の方々との意見交換、第2次変電及び配電網整備状況についての視察を行いました。さらに、スポーツ外交の一步として、バレーボールをそれぞれの国へ寄贈することができました。



参議院ODA調査 第3班(アフリカ地域)



アジア大会選手団へ激励



台湾視察 蔡英文総統と面会



日韓国會議員親善サッカー大会



# 地域での政治活動に積極的に取り組んでいます！

東京高潮対策促進連盟要望活動



東京湾大感謝祭2018



バレーボールミーティング



## 2020東京大会 INFORMATION

**観戦チケット情報** 東京2020大会公式チケット販売サイトでチケットを購入する際には、TOKYO 2020 IDの登録が必要となります。

### オリンピック

競技チケット価格の幅は、最低価格が2,500円、最高価格が130,000円です。チケット全体の半分以上が、8,000円以下で購入可能で、2,020円の企画チケットも販売される予定です。

### パラリンピック

競技チケット価格の幅は、最低価格が900円、最高価格が7,000円です。オリンピック同様、企画チケットも販売される予定です。(複数の低価格帯を検討中)

#### ■チケット取得のタイムスケジュール

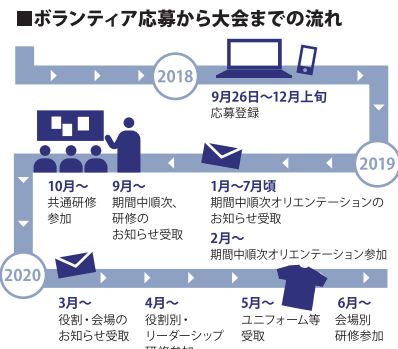


まずはID登録を！

東京2020大会公式ウェブサイトより

### 2020東京大会 ボランティア募集

2020年に「大会ボランティア」として活動するまでの2年間、オリエンテーションや研修などを「ボランティアジャーニー」として歩みます。一緒に活動する仲間たちと同じジャーニーを経験して、その経験を通じて1つのチーム「ワンチーム」になっていきます。東京2020大会に向けて気持ちを高めていけるプログラムになっていますので、奮ってご参加ください！！



## 朝日 健太郎 プロフィール

## Kentaro Asahi Profile

- 1975年 熊本県生まれ。法政大学卒。
- 鎮西高校在学中にバレーボール日本代表に招集。
- 2002年 ビーチバレーボールに転向。  
2008年北京五輪・2012年ロンドン五輪に出場し、日本男子史上初の勝利を挙げる。
- 競技引退後、NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長に就任し、日本の砂浜海岸やビーチ文化の啓発に取り組む。
- 早稲田大学大学院にて学び、スポーツ産業の育成を通じた経済発展への問題意識を得る。
- 2016年 参議院東京選挙区にて初当選。

#### 【現在】

- 参議院予算委員会委員 参議院国土交通委員会委員
  - 自民党国土交通部会副会長 自民党青年局長代理 自民党スポーツ立国調査会幹事
  - 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部事務局次長  
港湾議員連盟 トラック輸送振興議員連盟
  - 日本バレーボール協会理事
- 平成30年10月現在

### 自由民主党 党員募集のご案内

朝日健太郎が所属する自由民主党は、多くの党員の皆さんに支えられて運営されています。党費というかたちで資金的に支えていただき、選挙のときには応援をお願いしています。さらに、楽しいイベントや勉強会もあり、総裁を選ぶ投票にも参加していただいています。党員になって、朝日健太郎と自由民主党を支えてください！

朝日健太郎の活動を  
Twitter、ホームページ、  
Facebookで  
紹介しています。  
ぜひ、ご覧ください。

